

令和7年度 静岡大学人文社会科学部
社会人選抜（第1期）試験問題

経済学科 [小論文] (SK)

令和6年11月23日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）	・・・	9枚
解答用紙	・・・	3枚
下書用紙	・・・	3枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の文章は、平賀緑『食べものから学ぶ現代社会——私たちが動かす資本主義のカタクリ』（岩波書店、2024 年）の一部を抜粋したものである。この文章を読んで、問 1～問 3 に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

出典：平賀緑『食べものから学ぶ現代社会——私たちが動かす資本主義のカラクリ』岩波書店，2024 年，26~46 頁。ただし，出題にあたって，縦書きを横書きにして原文にあった小見出し，注を省いた。

（注 1）商品取引所：農産物・畜産物・鉱物などの商品を対象に先物取引を行う場のこと。

（注 2）先物価格：将来の特定の日に，あらかじめ合意した価格で売り買いを行なう取引（先物取引）で用いられる価格のこと。例えば，3 カ月先に今の価格で売買することを取り決めることで，価格変動のリスクを低減することができる。

（注 3）需要と供給の法則：商品の価格と売買量は，需要と供給によって決まるという考え方。

（注 4）金融商品：狭義には，預貯金や国債，株式などのこと。ここでは，小麦が投機の対象となったことを意味する。

（注 5）金融派生商品：株式や為替などの取引で生じる損失を回避するために開発された金融商品。先物取引などを指す。

（注 6）投機筋：短期的な値動きの変化から利益を獲得することを目的に取引を行う投資家のこと。

（注 7）ヘッジ：価格の変動により損失を被る危険性を回避すること。

（注 8）商品先物市場：先物取引が行われる市場のこと。

問1 小麦が「商品化」(下線部, 4 頁)される過程とはどのようなものだったのか。本文に即して, 300 字以内で述べなさい。(配点 30%)

問2 製粉業が機械化・大規模化し, 世界中に販路を広げる過程とはどのようなものだったのか。本文に即して, 300 字以内で述べなさい。(配点 30%)

問3 資本主義経済における食と農の「商品化」や, 食料が海外市場へ展開する現状について, 本文を参考に, あなたの意見を 400 字以内で述べなさい。(配点 40%)

採点・評価基準 (具体的基準)

教科・科目名	小論文 (社会人選抜) 第 1 期	問題番号	SK
対 象 学 部・ 学科 (課程) 等	人文社会科学部経済学科 夜間主コース		
出題のねらい	問 1 問題文の内容を理解し、それを過不足なくコンパクトに要約する力を有しているか評価するための問題である。 問 2 問 1 と同様に、問題文の内容を理解し、それを過不足なくコンパクトに要約する力を有しているか評価するための問題である。 問 3 筆者の主張を理解した上で、自分の考え方を論理的に述べることができるかを問う問題である。		
採 点 基 準 (点数は100点 満点の場合)	問 1 配点30% ① 本文の内容を理解しているか。 ② 出題文に対して、本文の内容を踏まえて、論じられているか。 問 2 配点30% ① 本文の内容を理解しているか。 ② 出題文に対して、本文の内容を踏まえて、論じられているか。 問 3 配点40% ① 本文の内容を理解しているか。 ② 自分の考えについて論理的に述べているか。 ③ 文章が十分な長さで書けているか。		